

独立行政法人情報処理推進機構 デジタル時代のIT人材動向及びそのスキル変革に関する調査（IT企業向け）

■調査趣旨

本アンケートは、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が、IT産業やIT業務に携わる人材の動向を継続的に把握し、今後のIT関連人材に関する施策の立案などの基礎情報とするために実施するものです。

また、昨今においてはAI（人工知能）やIoT、ビッグデータをはじめとするデジタル技術を活用した事業（以下、「デジタル事業」という。）の創出・変革を目的としたデジタルトランスフォーメーション（DX）への取組みが企業の課題となっており、それに伴い一般の事業会社の事業部門の方々にもITやデジタル活用のスキルが求められるようになってきております。本調査でもDXへの取組み状況やそれに携わる人材について併せて調査させていただきますのでご協力のほどよろしくお願い致します。

■ご回答をお願いしたい方

御社において全社的な立場でIT関連業務に携わる人材（以下、IT人材と略します。）の育成・採用等を行う責任者の方にご回答いただきますようお願い申し上げます。尚、IT人材の育成・採用について全社的な活動をされていない場合は、当該部門のお立場で回答してください。

また、本アンケートにおける「IT人材」の範囲は下記の「調査対象者」に示す通りです。ご回答者の担当範囲や管理範囲を超える質問につきましては、その内容に関する責任者や当事者部門にご照会の上、ご回答頂きますようお願い致します。

■調査対象者

当調査でのIT人材とは、以下に該当する方々を対象とします。

- ・IT企業やネットビジネス企業に所属する研究者やエンジニア
 - ・一般の事業会社の情報システム部門に所属しIT業務に携わる人材
 - ・ITを活用して新規事業創造、新技術・製品の研究・開発、既存製品・サービスの付加価値向上、業務のQCD向上などを行う人材
- ただし、ITとの関わり方という視点で、単に使うだけの人は対象には含みません。

■アンケートご回答期限

2021年02月25日（木）

■アンケートご回答にあたって

- ・任意回答の設問で、回答が難しい設問や回答を控えたい設問につきましては、その設問の回答欄は空欄で構いません。可能な範囲で回答いただければ有り難く存じます。
- ・なお、アンケート調査に回答していただいた内容は統計的に処理し、IPA調査レポートや白書の形で公表することをご了承の程お願いいたします。

（個々の調査票に記載された個別の情報を公表することは一切ございません）。

■アンケートにご協力いただいた方には、以下の情報を提供いたします。

- ◇ 本調査結果内容のPDF、またはこれに準ずる資料

■回答方法

(1) ウェブで回答

「途中保存機能」などのほか、様々な入力補助機能を備えておりますので、ウェブでの回答をお勧めいたします。

ウェブで回答される場合は、同封の別紙「ログインガイド」を参照ください。

(2) エクセルファイルで回答

① ファイルをアップロード

本アンケート調査専用ウェブサイト経由でアップロードしてください。

② メールで回答

回答・保存したエクセルファイルを添付の上、下記メールアドレス宛に送信してください。

itjinzai@tsr-net.co.jp

③ FAXで送信

本エクセルファイル内で回答いただいた調査票を印刷したもの、もしくは印刷した調査票に手書きで回答いただいた調査票を、下記FAX番号に送信してください（大変申し訳ございませんが通信料はご負担ください）。

FAX番号：03-5221-0716

④ 郵送で返送

本エクセルファイル内で回答いただいた調査票を印刷したもの、もしくは印刷した調査票に手書きで回答いただいた調査票を、下記宛先に送付してください（大変申し訳ございませんが封筒および郵送料はご負担ください）。

〒100-6810

東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル

株式会社東京商工リサーチ

市場調査部 デジタル時代のIT人材動向及びそのスキル変革に関する調査アンケート事務局 行

■本アンケート調査専用ウェブサイト

<https://www.c-pass.jp/ds2020>

<お問い合わせ先>

○調査趣旨に関して

独立行政法人情報処理推進機構（IPA）社会基盤センター 人材プラットフォーム部スキルトランスフォーメーショングループ

MAIL：ikc-sx-2020chousa@ipa.go.jp（担当：今村、神谷）

○アンケート回答方法、操作方法等調査全般に関して

株式会社東京商工リサーチ

市場調査部 デジタル時代のIT人材動向及びそのスキル変革に関する調査アンケート事務局（担当：小川、小田宮）

TEL：03-6910-3193 FAX：03-5221-0716

MAIL：itjinzai@tsr-net.co.jp

【ご回答企業情報】 御社に関する情報を記入ください。 **必須**

企業名			
部署名			
従業員数	人	従業員平均年齢	歳
住所	〒		
CDO (Chief Digital Officer) 最高デジタル責任者	○ いる ○ いない	IT分野に見識がある役員の割合 (役員：会社の業務執行や監督を行う 幹部職員を示す (経営者・上位管理 職))	割
メールアドレス			
CTO協会依頼で回答	<input type="checkbox"/>		

デジタル事業 (※) を行っている部署名、住所を記入ください。

本社と同じ住所	<input type="checkbox"/>
部署名	
住所	〒

(※) デジタル事業とは…本調査ではAI (人工知能) やIoT、ビッグデータをはじめとするデジタル技術を活用した事業を示す。

1. 事業内容

Q1 御社の現在の事業 (業務)

必須 Q1-1 御社において、デジタル事業の売上比率について把握していますか。 [番号を1つ選択]

<input type="radio"/> 1. デジタル事業を行っており、デジタル事業の売上比率を定量的に把握できている (デジタル事業売上比率 %)	→Q1-2へ
<input type="radio"/> 2. デジタル事業は行っているが、デジタル事業の売上比率は把握できていない	→Q1-2へ
<input type="radio"/> 3. デジタル事業は行っていない	→ Q2へ

Q1-2 Q1-1で「1. デジタル事業を行っており、デジタル事業の売上比率を定量的に把握できている」
または、「2. デジタル事業は行っているが、デジタル事業の売上比率は把握できていない」を選択した方にお尋ねします。

2～3年前のデジタル事業の比率は以下のいずれに該当しますか。 [番号を1つ選択]

<input type="radio"/> 1. 現在よりも少なかった
<input type="radio"/> 2. 現在と変わらない
<input type="radio"/> 3. 現在よりも多かった
<input type="radio"/> 4. デジタル事業は行っていなかった

御社のデジタルトランスフォーメーション (DX) への取り組み状況について

御社において、デジタル技術を活用したビジネスの創出・変革やデジタル事業の企画・開発等を推進しておられるご担当者様、責任者の方にご回答いただきますよう、お願い申し上げます。

昨今、デジタル事業の創出やビジネス変革を進めるデジタルトランスフォーメーション (以下、DXと略します) の取り組みが大きな課題となっております。こうした課題を踏まえ、DXへの取り組み状況やそれに携わる人材についてお尋ねします。

Q2 御社のDXへの取り組み状況などをお尋ねします。

必須 Q2-1 御社ではDXを御社全体で取り組んでいますか。 [番号を1つ選択]

<input type="radio"/> 1. 全社戦略に基づき、全社的にDXに取り組んでいる	→Q2-2、Q2-3へ
<input type="radio"/> 2. 全社戦略に基づき、一部の部門においてDXに取り組んでいる	→Q2-2、Q2-3へ
<input type="radio"/> 3. 部署ごとに独自、個別にDXに取り組んでいる	→Q2-2、Q2-3へ
<input type="radio"/> 4. 取り組んでいない	→Q2-2へ
<input type="radio"/> 5. 創業よりデジタル事業をメイン事業としている	→Q3へ
<input type="radio"/> 6. 分からない	→Q3へ

Q2-1で「1. 全社戦略に基づき、全社的にDXに取り組んでいる」、「2. 全社戦略に基づき、一部の部門においてDXに取り組んでいる」、
「3. 部署ごとに独自、個別にDXに取り組んでいる」、「4. 取り組んでいない」を選択した方にお尋ねします。

Q2-2 御社でのDXの取り組みはいつごろから取り組んでいるか、もしくは、取り組む予定ですか。 [番号を1つ選択]

<input type="radio"/> 1. 実施中 (西暦 年から)
<input type="radio"/> 2. 実施予定 (西暦 年から)
<input type="radio"/> 3. 当面は実施予定がない

Q2-1で「1. 全社戦略に基づき、全社的にDXに取り組んでいる」、「2. 全社戦略に基づき、一部の部門においてDXに取り組んでいる」、
「3. 部署ごとに独自、個別にDXに取り組んでいる」を選択した方にお尋ねします。

必須 Q2-3 DXの取り組みにおいて、設定した目的に対しての成果の状況をお尋ねします。 [番号を1つ選択]

<input type="radio"/> 1. 成果が出ている	→ Q2-4、Q2-5へ
<input type="radio"/> 2. 成果が出ていない	→ Q3へ
<input type="radio"/> 3. 分からない	→ Q3へ

Q2-3で「1.成果が出ている」を選択した方にお尋ねします。

Q2-4 DXの取り組み内容と成果は、それぞれどの内容に当てはまりますか。 [それぞれ番号を1つ選択]

横に回答→	既に十分な成果が出ている	既にある程度の成果が出ている	今後の成果が見込まれている	まだ見通しは分からない	取り組んでいない
1. 業務の効率化による生産性の向上	○1	○2	○3	○4	○5
2. 既存製品・サービスの高付加価値化	○1	○2	○3	○4	○5
3. 新規製品・サービスの創出	○1	○2	○3	○4	○5
4. 現在のビジネスモデルの根本的な変革	○1	○2	○3	○4	○5
5. 企業文化や組織マインドの根本的な変革	○1	○2	○3	○4	○5

Q2-3で「1.成果が出ている」を選択した方にお尋ねします。

必須 Q2-5 DXの取り組みを実施した結果、目的とした効果はありましたか。 [番号を1つ選択]

○ 1.効果があった → Q2-6へ
 ○ 2.効果はない（まだ効果が出ていない） → Q3へ
 ○ 3.分からない → Q3へ

Q2-5で「1.効果があった」を選択した方にお尋ねします。

Q2-6 DXの取り組みを実施した結果、具体的な効果はありましたか。 [それぞれ番号を1つ選択]

横に回答→	当てはまる	ある程度当てはまる	当てはまらない
1. 財務的な指標（売上、利益、コスト削減等）	○1	○2	○3
2. アジリティ、意思決定が向上 （企業の経営方針の変更や時代のニーズの変化などに機敏に対応）	○1	○2	○3
3. 顧客の満足度や行動に関わる指標が向上 （顧客体験（CX）、双方コミュニケーション）	○1	○2	○3
4. 従業員体験価値（EX）が向上 （従業員が組織や会社の中で体験する経験価値）	○1	○2	○3

※CX（カスタマーエクスペリエンス）、EX（エンployeeエクスペリエンス）

2. IT人材の状況

Q3 御社の人材の「量」、「質」についてお尋ねします。

必須 Q3-1 会社では、事業戦略に必要なIT人材の「量」を現在十分に確保できていますか。 [番号を1つ選択]

○ 1. 大幅に不足している
 ○ 2. やや不足している
 ○ 3. 特に過不足はない
 ○ 4. 一部に過剰がある（削減や職種転換等が必要）
 ○ 5. 分からない

必須 Q3-2 会社のIT人材の「質」についてお尋ねします。

会社では、事業戦略に必要なIT人材の「質」を現在十分に確保できていますか。 [番号を1つ選択]

○ 1. 大幅に不足している
 ○ 2. やや不足している
 ○ 3. 特に不足はない
 ○ 4. 分からない

デジタル事業に対応する人材を下記表1のように分類した場合、以下の設問に回答ください。

表1 デジタル事業に対応する人材の定義

プロダクトマネージャー	デジタル事業の実現を主導するリーダー格の人材
ビジネスデザイナー	デジタル事業（マーケティング含む）の企画・立案・推進等を担う人材
テックリード （エンジニアリングマネージャー、アーキテクト）	デジタル事業に関するシステムの設計から実装ができる人材
データサイエンティスト	事業・業務に精通したデータ解析・分析ができる人材
先端技術エンジニア	機械学習、ブロックチェーンなどの先進的なデジタル技術を担う人材
UI/UXデザイナー	デジタル事業に関するシステムのユーザー向けデザインを担当する人材
エンジニア/プログラマー	デジタル事業に関するシステムの実装やインフラ構築、保守・運用、セキュリティ等を担う人材

Q3-3 御社では、表1のデジタル事業に対応する人材の「量」を現在十分に確保できていますか。[それぞれ番号を1つ選択]

横に回答→	大幅に不足している	やや不足している	特に過不足はない	一部に過剰がある (削減や職種転換等が必要)	分からない	自社には必要ない
1. プロダクトマネージャー	○ 1	○ 2	○ 3	○ 4	○ 5	○ 6
2. ビジネスデザイナー	○ 1	○ 2	○ 3	○ 4	○ 5	○ 6
3. テックリード (エンジニアリングマネージャー、アーキテクト)	○ 1	○ 2	○ 3	○ 4	○ 5	○ 6
4. データサイエンティスト	○ 1	○ 2	○ 3	○ 4	○ 5	○ 6
5. 先端技術エンジニア	○ 1	○ 2	○ 3	○ 4	○ 5	○ 6
6. UI/UXデザイナー	○ 1	○ 2	○ 3	○ 4	○ 5	○ 6
7. エンジニア/プログラマ	○ 1	○ 2	○ 3	○ 4	○ 5	○ 6

Q3-3で「1. 大幅に不足している」～「5. 分からない」を選択した項目についてお尋ねします。(「6. 自社には必要ない」を選択した項目は回答不要です。)

Q3-4 御社では、表1のデジタル事業に対応する人材の「質」を現在十分に確保できていますか。[それぞれ番号を1つ選択]

横に回答→	大幅に不足している	やや不足している	特に不足はない	分からない
1. プロダクトマネージャー	○ 1	○ 2	○ 3	○ 4
2. ビジネスデザイナー	○ 1	○ 2	○ 3	○ 4
3. テックリード (エンジニアリングマネージャー、アーキテクト)	○ 1	○ 2	○ 3	○ 4
4. データサイエンティスト	○ 1	○ 2	○ 3	○ 4
5. 先端技術エンジニア	○ 1	○ 2	○ 3	○ 4
6. UI/UXデザイナー	○ 1	○ 2	○ 3	○ 4
7. エンジニア/プログラマ	○ 1	○ 2	○ 3	○ 4

Q3-5 御社では、表1のデジタル事業に対応する人材の中でどのような人材を重要と考え、育成していきたいと考えますか。[下記から1位・2位の番号をそれぞれ1つずつ選択]

1位	2位
1. プロダクトマネージャー	
2. ビジネスデザイナー	
3. テックリード (エンジニアリングマネージャー、アーキテクト)	
4. データサイエンティスト	
5. 先端技術エンジニア	
6. UI/UXデザイナー	
7. エンジニア/プログラマ	
8. その他 (1位、または2位を選択した場合、内容を入力欄にご記入ください)	
<input type="text" value="<入力欄>"/> <input type="text"/>	

Q3-6 御社では、以下のAIに関連する人材はいますか。それぞれ、最も近いものを選択してください。[それぞれ番号を1つ選択]

横に回答→	十分にいる	ある程度いる	不足している	自社には必要ない ※1
1. AIに理解がある経営・マネジメント層	○ 1	○ 2	○ 3	○ 4
2. AIを活用した製品・サービスを企画できるAI事業企画	○ 1	○ 2	○ 3	○ 4
3. 先進的なAIアルゴリズムを開発したり、学術論文を書けるAI研究者	○ 1	○ 2	○ 3	○ 4
4. AIを活用したソフトウェアやシステムを実装できるAI開発者	○ 1	○ 2	○ 3	○ 4
5. AIツールでデータ分析を行い、自社・顧客の事業に活かせる人材	○ 1	○ 2	○ 3	○ 4
6. 現場の知見と基礎的AI知識を持ち、自社・顧客へのAI導入を推進できる人材	○ 1	○ 2	○ 3	○ 4

※1: 「自社の事業には必要ない」、「外部に委託するので社内には必要ない」などを含みます。

3.IT人材の人数（職種、レベル）

Q4 御社のIT人材の人数（職種、レベル）についてお尋ねします。

Q4-1 御社が直接雇用しているIT人材のうち、次の人材の数をご記入ください。

※外国籍のIT人材とは、日本国籍でなく、かつ就労ビザを有する人のことを指します。

IT人材の全体数（正社員のみ）	人	IT人材のうち外国籍の人数（正社員以外も含む）	人
IT人材のうちシニア人材（定年後の再雇用者等）の数（正社員以外も含む）	人		

必須 Q4-2 IT人材の「職種別の人材数」と「人材のレベル」を把握していますか。[番号を1つ選択]

1. 職種別の人材数、人材のレベル両方を把握している →Q4-3、Q4-4、Q4-5へ
 2. 職種別の人材数だけ把握している →Q4-3、Q4-5へ
 3. 人材のレベルだけ把握している →Q4-4へ
 4. 把握していない →Q5-1へ

Q4-3 Q4-2で「1. 職種別の人材数、人材のレベル両方を把握している」または「2. 職種別の人材数だけ把握している」を選択した方にお尋ねします。

御社のIT人材に当てはまる下記の職種別の人数をご記入ください。兼任の場合、主となる職種に含めてください。

職種	人数
1. ITストラテジスト（IT戦略策定、IT企画を導くCIOやCTO、ITコンサルタントなど）	人
2. システムアーキテクト （システム開発の上流工程を主導し、業務ニーズに適したデザインを設計するエンジニア）	人
3. プロジェクトマネージャ（プロジェクト全体の意思決定、管理、統制を担う人材）	人
4. ITサービスマネージャ（顧客ニーズを踏まえ、安全性と信頼性の高いITサービスを提供する人材）	人
5. ネットワーク技術者・担当者（ネットワークシステムを企画・要件定義・設計・構築・運用・保守を担う人材）	人
6. データベース技術者・担当者（データ資源及びデータベースを企画・要件定義・開発・運用・保守を担う人材）	人
7. エンベデッドシステム技術者・担当者 （IoTを含む組み込みシステムに関するハードウェアとソフトウェアの要求仕様に基づき、開発・実装・テストを担う人材）	人
8. 情報セキュリティ技術者・担当者 （情報システムの企画・設計・開発・運用におけるセキュリティ確保、対策の適用、セキュリティインシデント管理を担う人材）	人
9. アプリケーション技術者・担当者 （基本戦略立案又はITソリューション・製品・サービスを実現する業務を担う人材）	人
10. プログラマー（システムの実装、保守・運用）	人
11. システム監査（専門的な立場で、情報システムや組み込みシステムの監査を担う人材）	人
12. その他	人
合計	0 人

Q4-4 Q4-2で「1. 職種別の人材数、人材のレベル両方を把握している」または「3. 人材のレベルだけ把握している」を選択した方にお尋ねします。

御社のIT人材のレベルごとの人数をご記入ください。

レベル	人数
1. 社内・業界をリードする人材	人
2. 指導者・リーダー	人
3. 自立して業務を遂行できる人材	人
4. 指導や補助が必要な人材	人
合計	0 人

Q4-5 Q4-2で「1. 職種別の人材数、人材のレベル両方を把握している」または「2. 職種別の人材数だけ把握している」を選択した方にお尋ねします。

御社のIT人材のうち、表1のデジタル事業に対応する人材に当てはまる下記の職種別の人数をご記入ください。兼任の場合、主となる職種に含めてください。

※詳細が分からない場合は、合計値のみご記入下さい。

職種	人数
1. プロダクトマネージャ	人
2. ビジネスデザイナー	人
3. テックリード（エンジニアリングマネージャ、アーキテクト）	人
4. データサイエンティスト	人
5. 先端技術エンジニア	人
6. UI/UXデザイナー	人
7. エンジニア/プログラマ	人
8. その他	人
合計	0 人

※詳細が分からない場合は、以下の枠に合計値のみご記入下さい。

人

4. IT人材の獲得・確保方法

Q5-1 御社が過去1年間にIT人材を獲得・確保した方法についてお尋ねします。

(1) 御社が過去1年間で、IT人材を獲得・確保するために行ったものは何でしょうか。[該当するすべての番号を選択]

(2) 御社が過去1年間に行ったIT人材の獲得・確保方法のうち、最も多い人数を獲得・確保できたものは何でしょうか。[番号を1つ選択]

	(1) 当てはまる方法 [該当するすべての番号を選択]	(2) 最も多い人数を獲得・確保 できた方法 [番号を1つ選択]
1. 新卒採用	<input type="checkbox"/> 1	<input type="radio"/> 1
2. 中途採用（キャリア採用）	<input type="checkbox"/> 2	<input type="radio"/> 2
3. 外国人採用	<input type="checkbox"/> 3	<input type="radio"/> 3
4. 既存人材（他部署からの異動者も含む）	<input type="checkbox"/> 4	<input type="radio"/> 4
5. 関連会社（親会社・情報子会社）からの転籍、出向	<input type="checkbox"/> 5	<input type="radio"/> 5
6. M&A、他社への出資で人材の獲得	<input type="checkbox"/> 6	<input type="radio"/> 6
7. 特定技術を持った企業、IT技術者（個人事業主等）と契約	<input type="checkbox"/> 7	<input type="radio"/> 7
8. 協力企業・派遣企業等の外部人材の活用	<input type="checkbox"/> 8	<input type="radio"/> 8
9. 獲得・確保していない	<input type="checkbox"/> 9	
10. 獲得・確保を行いたいができていない (※理由を入力欄にご記入ください)	<input type="checkbox"/> 10	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><入力欄></p> <p>(入力の例) 高額な報酬を用意できないので、人材の獲得・確保ができない。</p> <p>(入力の例) 経営者や人事権を持つ方々の理解が得られないので、人材の獲得・確保ができない。</p> </div>		
11. その他（※チェックを入れた上で入力欄へご記入ください）	<input type="checkbox"/> 11	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><入力欄></p> </div>		

Q5-2 御社では、以下の表1に記載した人材をどのように獲得・確保をしていますか。[該当するすべての番号を選択]

横に回答→	(1) 獲得・確保 [該当するすべての番号を選択]								
	1. 新卒採用	2. 中途採用 (キャリア採用)	3. 外国人採用	4. 既存人材 (他部署からの 異動者も含む)	5. 関連会社(親 会社・情報子 会社)からの転籍、 出向	6. M&A、他社 への出資で人材 の獲得	7. 特定技術を持 った企業、IT 技術者(個人事 業主等)と契約	8. 協力企業・ 派遣企業等の外 部人材の活用	9. 獲得・確保 していない
1. プロダクトマネージャー	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 6	<input type="checkbox"/> 7	<input type="checkbox"/> 8	<input type="checkbox"/> 9
2. ビジネスデザイナー	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 6	<input type="checkbox"/> 7	<input type="checkbox"/> 8	<input type="checkbox"/> 9
3. テックリード(エンジニアリング マネージャー、アーキテクト)	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 6	<input type="checkbox"/> 7	<input type="checkbox"/> 8	<input type="checkbox"/> 9
4. データサイエンティスト	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 6	<input type="checkbox"/> 7	<input type="checkbox"/> 8	<input type="checkbox"/> 9
5. 先端技術エンジニア	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 6	<input type="checkbox"/> 7	<input type="checkbox"/> 8	<input type="checkbox"/> 9
6. UI/UXデザイナー	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 6	<input type="checkbox"/> 7	<input type="checkbox"/> 8	<input type="checkbox"/> 9
7. エンジニア/プログラマ	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 6	<input type="checkbox"/> 7	<input type="checkbox"/> 8	<input type="checkbox"/> 9

■IT人材の獲得・確保方法（中途採用）

Q5-1の(1)で「2.中途採用(キャリア採用)」を選択した方にお尋ねします。

必須 Q5-3 ここ1年間の中途採用状況は以下のどれが近いですか。[番号を1つ選択]

1. 大幅に増えた

2. やや増えた

3. 変わらない

4. やや減った

5. 大幅に減った

Q 5-1の(1)で「2.中途採用(キャリア採用)」を選択した方にお尋ねします。

Q 5-4 中途採用にあたって特に重視する事項は何ですか。以下のうち3つまでお答えください。[番号を3つ選択]

	[番号を3つ選択]
1. 保有する技術やITスキルの種類・水準	<input type="checkbox"/> 1
2. ビジネス知識・スキル (ITを活用したビジネスモデルや事業の理解)	<input type="checkbox"/> 2
3. コミュニケーションなどIT・ビジネス関連以外のスキル	<input type="checkbox"/> 3
4. 直接関係するプロジェクトの内容と担った役割 (実績)	<input type="checkbox"/> 4
5. プロジェクトやタスクの管理経験	<input type="checkbox"/> 5
6. リーダーとしてのマネジメント経験	<input type="checkbox"/> 6
7. 職務や仕事への資質・パーソナリティ適性	<input type="checkbox"/> 7
8. 自身のやりたい仕事やキャリア目標	<input type="checkbox"/> 8
9. その他 (※チェックを入れた上で入力欄へご記入ください)	<input type="checkbox"/> 9
<入力欄>	

Q 5-1の(1)で「2.中途採用(キャリア採用)」を選択した方にお尋ねします。

Q 5-5 中途採用の方法について、以下のうち該当するものをお答えください。[該当するすべての番号を選択]

	[該当するすべての番号を選択]
1. 自社採用HPによる募集	<input type="checkbox"/> 1
2. 転職サイト、転職エージェント	<input type="checkbox"/> 2
3. リファラル	<input type="checkbox"/> 3
4. その他 (※チェックを入れた上で入力欄へご記入ください)	<input type="checkbox"/> 4
<入力欄>	

Q 5-1の(1)で「2.中途採用(キャリア採用)」を選択した方にお尋ねします。

Q 5-6 中途採用をする際に対象者の能力や価値を把握するのに参考にしているものはありますか。[該当するすべての番号を選択]

	[該当するすべての番号を選択]
1. Facebook、TwitterなどのSNS	<input type="checkbox"/> 1
2. LinkedInなどの個人プロフィール型のSNS	<input type="checkbox"/> 2
3. ヘッドハンティングや転職エージェントからの情報	<input type="checkbox"/> 3
4. ITエンジニアのスキルチェックツール (既存、独自含む)	<input type="checkbox"/> 4
5. GitHub・Kaggle等のプラットフォーム	<input type="checkbox"/> 5
6. 資格試験・各種Certification (オープンバッジ、ITベンダー発行のもの含む)	<input type="checkbox"/> 6
7. リファラルにおける紹介者からの情報	<input type="checkbox"/> 7
8. いずれも参考にしていない (履歴書と面接のみ)	<input type="checkbox"/> 8
9. その他 (※チェックを入れた上で入力欄へご記入ください)	<input type="checkbox"/> 9
<入力欄>	

Q 5-1の(1)で「2.中途採用(キャリア採用)」を選択した方にお尋ねします。

Q 5-7 (1) 中途採用したIT人材の直前の勤務先業種に当てはまるものは何でしょうか。[該当するすべての番号を選択]

(2) 中途採用したIT人材の直前の勤務先業種として最も多いものは何でしょうか。[番号を1つ選択]

	(1) 当てはまるもの [該当するすべての番号を選択]	(2) 最も多い直前の勤務先 [番号を1つ選択]
1. 大手ベンダー (従業員数1,001名以上のIT企業)	<input type="checkbox"/> 1	<input type="radio"/> 1
2. 中堅Sler (従業員数301名以上1,000名以下のIT企業)	<input type="checkbox"/> 2	<input type="radio"/> 2
3. 中小Sler (従業員数300名以下のIT企業)	<input type="checkbox"/> 3	<input type="radio"/> 3
4. ユーザー企業のIT部門	<input type="checkbox"/> 4	<input type="radio"/> 4
5. ユーザー企業のIT部門以外	<input type="checkbox"/> 5	<input type="radio"/> 5
6. ネットビジネス実施企業	<input type="checkbox"/> 6	<input type="radio"/> 6
7. ベンチャー、スタートアップ企業 (専門分野に特化、デジタル化の推進・支援を専門など)	<input type="checkbox"/> 7	<input type="radio"/> 7
8. 特定技術を持ったフリーランス (個人事業主など)	<input type="checkbox"/> 8	<input type="radio"/> 8
9. その他 (上記以外の直前の勤務先業種はチェックを入れた上で入力欄へご記入ください)	<input type="checkbox"/> 9	<input type="radio"/> 9
<入力欄>		

Q 5-8 IT人材を新たに採用するにあたっての阻害要因は何ですか。[該当するすべての番号を選択]

	[該当するすべての番号を選択]
1. 要求水準を満たす人材がない	<input type="checkbox"/> 1
2. 採用したい人材のスペックを明確にできない	<input type="checkbox"/> 2
3. 魅力的な仕事を用意できない	<input type="checkbox"/> 3
4. 魅力的な処遇が提示できない	<input type="checkbox"/> 4
5. 採用予算や人件費の制約	<input type="checkbox"/> 5
6. 働く環境や就業形態が合わない	<input type="checkbox"/> 6
7. その他（※チェックを入れた上で入力欄へご記入ください）	<input type="checkbox"/> 7
<入力欄>	

■ IT人材の獲得・確保方法（中途採用コロナ禍の影響）

必須 Q6-1 中途採用に関するコロナの影響についてお聞きします。

中途採用に関して、コロナの影響はどの程度ありますか。[番号を1つ選択]

<input type="radio"/> 1. かなりある →Q6-2へ
<input type="radio"/> 2. ある →Q6-2へ
<input type="radio"/> 3. どちらともいえない →Q7-1へ
<input type="radio"/> 4. あまりない →Q7-1へ
<input type="radio"/> 5. 全くない →Q7-1へ

Q6-2 Q6-1で「1. かなりある」または「2. ある」を選択した方にお尋ねします。

それはどのような影響ですか、以下のうち該当するものをお答えください。[該当するすべての番号を選択]

	[該当するすべての番号を選択]
1. 中途採用に慎重になった	<input type="checkbox"/> 1
2. 中途採用に積極的になった	<input type="checkbox"/> 2
3. スキルの高い人を獲得する機会が増えた	<input type="checkbox"/> 3
4. 人材獲得競争が激化した	<input type="checkbox"/> 4
5. その他（※チェックを入れた上で入力欄へご記入ください）	<input type="checkbox"/> 5
<入力欄>	

■ IT人材の獲得・確保方法（離職）

必須 Q7 IT人材の流出についてお聞きします。

Q7-1 ここ1年間のIT人材の流出（御社からの離職）状況は以下のうちどれが近いですか。[番号を1つ選択]

<input type="radio"/> 1. 大幅に増えた
<input type="radio"/> 2. やや増えた
<input type="radio"/> 3. 変わらない
<input type="radio"/> 4. やや減った
<input type="radio"/> 5. 大幅に減った

Q7-2 離職の理由はどれが多いですか。3つまで選択してください。[番号を3つ選択]

	[該当する番号を3つ選択]
1. 先端的な仕事ができなかったから	<input type="checkbox"/> 1
2. クリエイティブな仕事ができなかったから	<input type="checkbox"/> 2
3. 自身のやりたい仕事ができなかったから	<input type="checkbox"/> 3
4. 労働時間が長かったから	<input type="checkbox"/> 4
5. 給与に不満があったから	<input type="checkbox"/> 5
6. 上司に不満があったから	<input type="checkbox"/> 6
7. 上司以外の人間関係に不満があったから	<input type="checkbox"/> 7
8. 社風に合わなかったから	<input type="checkbox"/> 8
9. 本人の望む働き方が出来なかったから	<input type="checkbox"/> 9
10. もっとスキルアップしたかったから	<input type="checkbox"/> 10
11. 分からない	<input type="checkbox"/> 11
12. その他（※チェックを入れた上で入力欄へご記入ください）	<input type="checkbox"/> 12
<入力欄>	

5. IT人材の素養、キャリアサポート、スキル把握

Q8-1 仕事において役立つ知的素養としてIT人材に求めるもので、以下に該当するものはありますか。【該当するすべての番号を選択】

※知的素養とは、知識、スキル、ものの見方や考え方、センス等を指します。

	【該当するすべての番号を選択】
1. 科学 (Science) に関すること	<input type="checkbox"/> 1
2. 技術 (Technology) に関すること	<input type="checkbox"/> 2
3. 工学 (Engineering) に関すること	<input type="checkbox"/> 3
4. 数学 (Mathematics) に関すること	<input type="checkbox"/> 4
5. 芸術 (Art) に関すること	<input type="checkbox"/> 5
6. 英語コミュニケーションに関すること	<input type="checkbox"/> 6
7. 求めるものはない	<input type="checkbox"/> 7

Q8-2 IT人材のコンピテンシーについてお尋ねします。重要と思われるものを最大3つ選択してください。【該当する番号を3つ選択可能】

	【該当する番号を3つ選択】
1. 不確実な未来への創造力	<input type="checkbox"/> 1
2. 臨機応変／柔軟な対応力	<input type="checkbox"/> 2
3. 社外や異種の巻き込み力	<input type="checkbox"/> 3
4. 失敗した時の姿勢／思考	<input type="checkbox"/> 4
5. モチベーション／意味づけする力	<input type="checkbox"/> 5
6. いざという時の自身の突破力	<input type="checkbox"/> 6

必須 Q8-3 IT人材に対して、どのようなキャリアサポートを行っていますか。【該当するすべての番号を選択】

	【該当するすべての番号を選択】
1. キャリアパスの整備	<input type="checkbox"/> 1
2. キャリア教育	<input type="checkbox"/> 2
3. キャリア面談	<input type="checkbox"/> 3
4. キャリアアドバイザー（上司以外）の設置	<input type="checkbox"/> 4
5. 日常での1on1	<input type="checkbox"/> 5
6. 行っていない	<input type="checkbox"/> 6
7. その他（※チェックを入れた上で入力欄へご記入ください）	<input type="checkbox"/> 7

必須 Q8-4 御社のIT人材についてお尋ねします。

自社の平均的なレベルのIT人材の人材市場における競争力はどの程度とご思いますか。【番号を1つ選択】

<p><input type="radio"/> 1. 十分な競争力がある</p> <p><input type="radio"/> 2. 競争力は高くない</p> <p><input type="radio"/> 3. わからない</p>
--

必須 Q8-5 社内にIT人材を評価・把握するための基準はありますか。[番号を1つ選択]

1. ある →Q8-6へ
 2. ない →Q9-1へ
 3. わからない →Q9-1へ

Q8-6 Q8-5で社内にIT人材を評価・把握するための基準が「1. ある」を選択した方にお尋ねします。
社内の基準において、参考として利用しているものは何でしょうか。[該当するすべての番号を選択]

※選択肢「1」、「4」～「8」は経済産業省および当機構（IPA）から公表されています。
（「1」は、<https://www.jitec.ipa.go.jp/> 「4」～「8」は、<https://www.ipa.go.jp/jinzai/hrd/index.html>を参照）

1. 情報処理技術者試験
 2. 上記1（情報処理技術者試験）以外の試験、資格
 3. 教育訓練講座・プログラム（大学・民間等）の受講・履修
 4. ITスキル標準（ITSS/ITSS+）
 5. 情報システムユーザースキル標準（UISS）
 6. 組込みスキル標準（ETSS）
 7. iコンピテンシディクショナリ（iCD）
 8. 共通キャリア・スキルフレームワーク（CCSF）
 9. その他（※チェックを入れた上で入力欄へご記入ください）

<入力欄>

10. 上記の1-8は参考にしていない

6. IT人材の学び

必須 Q9-1 IT人材の学びについて会社の方針に近いものはどれですか。[該当するすべての番号を選択]

	[該当するすべての番号を選択]
1. 会社による選抜	<input type="checkbox"/> 1
2. 本人の手挙げによる選抜	<input type="checkbox"/> 2
3. 全体底上げ	<input type="checkbox"/> 3
4. 特に方針はない	<input type="checkbox"/> 4

Q9-2 人材のスキルアップの方法についてお聞きします。

- (1) 以下の各項目について、御社での実施状況をお答えください。[それぞれ番号を1つ選択]
 (2) 以下の各項目について、有効度をお答えください。[それぞれ番号を1つ選択]

横に回答→	(1) [それぞれ番号を1つ選択]			(2) [それぞれ番号を1つ選択]		
	会社として推奨し支援もしている	推奨はしているが特に支援はしていない	個人の自主性に任せている	効果がある	どちらとも言えない	あまり効果はない
1. 書籍・雑誌による学習	<input type="radio"/> 01	<input type="radio"/> 02	<input type="radio"/> 03	<input type="radio"/> 01	<input type="radio"/> 02	<input type="radio"/> 03
2. web上での情報収集	<input type="radio"/> 01	<input type="radio"/> 02	<input type="radio"/> 03	<input type="radio"/> 01	<input type="radio"/> 02	<input type="radio"/> 03
3. オンライン講座等による学習（e-learning/MOOC等） 【国内のコンテンツ】	<input type="radio"/> 01	<input type="radio"/> 02	<input type="radio"/> 03	<input type="radio"/> 01	<input type="radio"/> 02	<input type="radio"/> 03
4. オンライン講座等による学習（e-learning/MOOC等） 【海外のコンテンツ】	<input type="radio"/> 01	<input type="radio"/> 02	<input type="radio"/> 03	<input type="radio"/> 01	<input type="radio"/> 02	<input type="radio"/> 03
5. 資格取得のための勉強	<input type="radio"/> 01	<input type="radio"/> 02	<input type="radio"/> 03	<input type="radio"/> 01	<input type="radio"/> 02	<input type="radio"/> 03
6. 勉強会やコミュニティ活動等への参加	<input type="radio"/> 01	<input type="radio"/> 02	<input type="radio"/> 03	<input type="radio"/> 01	<input type="radio"/> 02	<input type="radio"/> 03
7. 研修やセミナー等への参加	<input type="radio"/> 01	<input type="radio"/> 02	<input type="radio"/> 03	<input type="radio"/> 01	<input type="radio"/> 02	<input type="radio"/> 03
8. 学会活動への参加	<input type="radio"/> 01	<input type="radio"/> 02	<input type="radio"/> 03	<input type="radio"/> 01	<input type="radio"/> 02	<input type="radio"/> 03
9. コンペティション（kaggle等）への参加	<input type="radio"/> 01	<input type="radio"/> 02	<input type="radio"/> 03	<input type="radio"/> 01	<input type="radio"/> 02	<input type="radio"/> 03
10. サンプルプログラムやアプリ等の実装・試作	<input type="radio"/> 01	<input type="radio"/> 02	<input type="radio"/> 03	<input type="radio"/> 01	<input type="radio"/> 02	<input type="radio"/> 03
11. その他 （※チェックを入れた上で入力欄へご記入ください）	<input type="radio"/> 01	<input type="radio"/> 02	<input type="radio"/> 03	<input type="radio"/> 01	<input type="radio"/> 02	<input type="radio"/> 03

<入力欄>

必須 Q9-3 御社のIT人材の教育費ついて、2019年度と比較した2020年度の状況を以下の当てはまるものから選択ください。[番号を1つ選択]

<input type="radio"/> 1. 大幅に増えた <input type="radio"/> 2. やや増えた <input type="radio"/> 3. 変わらない <input type="radio"/> 4. やや減った <input type="radio"/> 5. 大幅に減った
--

Q9-4 御社における年間の一人当たり教育費をお答えください。
 ※教育費の算出には、講師料、会場費、外部研修受講料等の直接経費のみを含み、研修スタッフに係わる人件費等の管理費（間接経費）は含まない。

一人当たり教育費（年間）	円
--------------	---

Q9-5 IT人材が学ぶ意識を高めることについてお聞きます。

- (1) 以下の各項目について、御社での実施状況をお答えください。[それぞれ番号を1つ選択]
 (2) (1)において「1. 実施している」を選択した項目について、有効度をお答えください。[それぞれ番号を1つ選択]

横に回答→	(1) 実施状況 [それぞれ番号を1つ選択]		(2) 有効度 [それぞれ番号を1つ選択]	
	実施している	実施していない	効果がある	効果がない
1. 給与の見直しや業績インセンティブ等の報酬上のメリット	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2
2. 柔軟な勤務体系（勤務時間、勤務日、勤務場所等）	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2
3. 学びの支援（教育研修、OJT、スクール等）	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2
4. 評価や賞与査定で移行期間を考慮すること	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2
5. その先のキャリア可能性の提示	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2
6. その他（※チェックを入れた上で入力欄へご記入ください）	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <入力欄> </div>				

Q9-6 IT人材に新たなスキルを獲得させるにあたっての阻害要因は何ですか。[該当するすべての番号を選択]

	[該当するすべての番号を選択]
1. 新たなスキルを活かせる案件がない	<input type="checkbox"/> 1
2. IT人材のやる気がない	<input type="checkbox"/> 2
3. 既存事業のリソース減	<input type="checkbox"/> 3
4. スキル獲得させるための時間確保	<input type="checkbox"/> 4
5. 育成予算の確保	<input type="checkbox"/> 5
6. 育成戦略や方針が不明確	<input type="checkbox"/> 6
7. その他 （※チェックを入れた上で入力欄へご記入ください）	<input type="checkbox"/> 7
入力欄	

Q9-7 IT人材に今後身につけさせるべき重要度が高いと思うスキルは以下のうちのどれに該当しますか。[該当するすべての番号を選択]

※STEAM：科学（Science）・技術（Technology）・工学（Engineering）・芸術（Art）・数学（Mathematics）

	[該当するすべての番号を選択]
1. 先端技術領域のスキル （AI/人工知能、IoT、データサイエンス等）	<input type="checkbox"/> 1
2. 人、プロジェクトやタスクのマネジメントスキル	<input type="checkbox"/> 2
3. 業務関連のコミュニケーションスキル （ライティング、ファシリテーション、プレゼンテーション等）	<input type="checkbox"/> 3
4. 関連の業務知識 （商品やサービスの特性、差別化、競合、プロセスやツール、規制その他）	<input type="checkbox"/> 4
5. デザイン思考なども活用したビジネス企画スキル	<input type="checkbox"/> 5
6. 数学や芸術といったSTEAM領域※や英語	<input type="checkbox"/> 6
7. その他 （※チェックを入れた上で入力欄へご記入ください）	<input type="checkbox"/> 7
入力欄	

必須 Q9-8 IT人材がAIやIoT、アジャイル等の先端技術領域や領域のスキルを学んだ場合、御社の中でそれを活かす機会はありますか。[番号を1つ選択]

1. かなりある
 2. 多くはないがある
 3. 将来的にはわからないが現在はほとんどない
 4. わからない

■IT人材へスキル習得させることに関してコロナの影響について

必須 Q10-1 IT人材へスキル習得させることに関してコロナの影響はどの程度ありますか。[該当するすべての番号を選択]

→ 横に回答	[該当するすべての番号を選択]
1. スキル習得をさせる必要性の認識に変化があった →Q10-2へ	<input type="checkbox"/> 1
2. スキル習得の効率性に変化があった →Q10-3へ	<input type="checkbox"/> 2
3. スキル習得のための時間に変化があった →Q10-4へ	<input type="checkbox"/> 3
4. 変化はなかった	<input type="checkbox"/> 4

必須 Q10-2 Q10-1で「1. スキル習得の必要性の認識に変化があった」を選択した方にお尋ねします。それはどのような影響ですか。[番号を1つ選択]

1. スキル習得をさせる必要性の認識が高まった
 2. スキル習得をさせる必要性の認識が下がった

必須 Q10-3 Q10-1で「2. スキル習得の効率性に変化があった」を選択した方にお尋ねします。それはどのような影響ですか。[番号を1つ選択]

1. スキル習得の効率性が高まった
 2. スキル習得の効率性が下がった

必須 Q10-4 Q10-1で「3. スキル習得のための時間に変化があった」を選択した方にお尋ねします。それはどのような影響ですか。[番号を1つ選択]

1. スキル習得のための時間が増えた
 2. スキル習得のための時間が減った

7. 情報処理技術者試験等の活用状況

※「情報処理技術者試験」<https://www.jitec.ipa.go.jp/>

必須 Q11 情報処理技術者試験等の活用状況についてお尋ねします。御社でIT資格・試験を活用している理由は何でしょうか。

[各試験に対して矢印の方向にそれぞれ該当するすべての番号を選択]

必須

	A. 情報処理技術者試験 ↓	B. ベンダー系資格・試験 (オラクル認定、マイクロソフト認定等) ↓	C. ベンダー系以外の資格(民間団体等の資格、社内資格制度、認定情報技術者制度を含む) ↓
1. 普遍的・汎用的な知識・スキルを社員に習得	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 1
2. 専門分野・担当業務の知識・スキルを社員に習得	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 2
3. 事業推進に必要な製品やサービスに関する知識・スキルを社員に習得	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 3
4. キャリアパスやキャリアフレームワークの設計に活用	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 4
5. 採用時に志願者の知識・スキルを客観的に評価	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 5
6. 社員の知識・スキルを客観的に評価	<input type="checkbox"/> 6	<input type="checkbox"/> 6	<input type="checkbox"/> 6
7. 社員の行動特性(挑戦意欲や知的好奇心等)を評価	<input type="checkbox"/> 7	<input type="checkbox"/> 7	<input type="checkbox"/> 7
8. 有資格者の人数によって組織の技術力をアピール	<input type="checkbox"/> 8	<input type="checkbox"/> 8	<input type="checkbox"/> 8
9. 投資額に対して育成効果が高い	<input type="checkbox"/> 9	<input type="checkbox"/> 9	<input type="checkbox"/> 9
10. 業界で広く受け入れられている	<input type="checkbox"/> 10	<input type="checkbox"/> 10	<input type="checkbox"/> 10
11. 活用していない	<input type="checkbox"/> 11	<input type="checkbox"/> 11	<input type="checkbox"/> 11
12. その他 (※チェックを入れた上で下記へご記入ください)	<input type="checkbox"/> 12	<input type="checkbox"/> 12	<input type="checkbox"/> 12

A. 情報処理技術者試験	<入力欄>
B. ベンダー系資格・試験 (オラクル認定、マイクロソフト認定等)	<入力欄>
C. ベンダー系以外の資格(民間団体等の資格、社内資格制度、認定情報技術者制度を含む)	<入力欄>

8. 情報処理安全確保支援士制度

必須 Q12 2016年度より最新の情報セキュリティに関する高度かつ実践的な知識・技能を備えた人材を対象とした新たな国家資格「情報処理安全確保支援士」制度が開始されました。御社での本制度に対するお考えなどについて、当てはまるものは何でしょうか。【該当するすべての番号を選択】

※本制度では、毎年4月と10月に実施する「情報処理安全確保支援士試験」に合格し、登録することで国家資格「情報処理安全確保支援士」保持者になることができます。
 国家資格「情報処理安全確保支援士」：<https://www.ipa.go.jp/siensi/>

<input type="checkbox"/> 1. 自社の技術者に「情報処理安全確保支援士試験」の受験を推奨している <input type="checkbox"/> 2. 自社の「情報処理安全確保支援士試験」合格者に資格登録・更新を推奨している <input type="checkbox"/> 3. 「情報処理安全確保支援士」の資格保有者を採用している・採用を考えている <input type="checkbox"/> 4. 調達要件などに「情報処理安全確保支援士」の資格保有者を活用している・活用を考えている <input type="checkbox"/> 5. 制度は知っているが、活用は未定である <input type="checkbox"/> 6. 聞いたことはあるが、よく知らない <input type="checkbox"/> 7. 初めて聞いた

9. 組織開発

Q13-1 優れた人材を獲得あるいは維持するためにIT人材（社員）から求められることについてお聞きします。

(1) 以下の各項目について、求められることをお答えください。【それぞれ番号を1つ選択】

(2) 以下の各項目について、企業として優先度が高いものを5つまで選択してください。【番号を5つ選択】

横に回答→	(1) 【それぞれ番号を1つ選択】			(2)
	強く求められる	どちらとも言えない	特に求めない	【番号を5つ選択】
【企業の文化や企業で重視される価値観に関すること】				
1. 職位間や部門間含め社内の風通しがよく、課題認識含めた情報共有がうまくいっている	○ 1	○ 2	○ 3	<input type="checkbox"/> 1
2. 多様な価値観を受容する	○ 1	○ 2	○ 3	<input type="checkbox"/> 2
3. リスクをとり、チャレンジすることが尊重される	○ 1	○ 2	○ 3	<input type="checkbox"/> 3
4. 企業の目指すことのビジョンや方向性が明確で社員に周知されている	○ 1	○ 2	○ 3	<input type="checkbox"/> 4
5. 意思決定のスピードが速い	○ 1	○ 2	○ 3	<input type="checkbox"/> 5
【自身の評価や報酬に関すること】				
6. 個人の業績や貢献が適正に評価される	○ 1	○ 2	○ 3	<input type="checkbox"/> 6
7. 世間的に見て報酬水準が高い	○ 1	○ 2	○ 3	<input type="checkbox"/> 7
8. 高いスキルを持っていることが報酬に反映される	○ 1	○ 2	○ 3	<input type="checkbox"/> 8
【働く環境に関すること】				
9. オフィスの設備や機材が充実している	○ 1	○ 2	○ 3	<input type="checkbox"/> 9
10. 一緒に仕事をしたいと思う仲間や上司がいる	○ 1	○ 2	○ 3	<input type="checkbox"/> 10
11. 仕事を楽しくしている同僚や上司が多い	○ 1	○ 2	○ 3	<input type="checkbox"/> 11
12. 個人の事情に合わせた柔軟な働き方ができる	○ 1	○ 2	○ 3	<input type="checkbox"/> 12
【人材開発（スキルアップ、自己の成長等）に関すること】				
13. 成長している企業で将来性がある	○ 1	○ 2	○ 3	<input type="checkbox"/> 13
14. 業績が安定している	○ 1	○ 2	○ 3	<input type="checkbox"/> 14
15. 雇用不安がない	○ 1	○ 2	○ 3	<input type="checkbox"/> 15
【組織の将来性や業績に関すること】				
16. 新しいスキル等を習得することが奨励される	○ 1	○ 2	○ 3	<input type="checkbox"/> 16
17. 学習を支援する制度やプログラムが充実している	○ 1	○ 2	○ 3	<input type="checkbox"/> 17
18. さまざまな挑戦の機会があり中長期的な自己の成長が期待できる	○ 1	○ 2	○ 3	<input type="checkbox"/> 18
【自身が携わる仕事に関すること】				
19. 個人の裁量が大きい	○ 1	○ 2	○ 3	<input type="checkbox"/> 19
20. 最先端の仕事ができる	○ 1	○ 2	○ 3	<input type="checkbox"/> 20
21. 自身が携わる仕事を選べるしくみがある	○ 1	○ 2	○ 3	<input type="checkbox"/> 21

Q13-1 優れた人材を獲得あるいは維持するためにIT人材（社員）から求められることについてお聞きします。

(3) 以下の各項目について、自社のIT人材（社員）が感じていると思われることをお答えください。[それぞれ番号を1つ選択]

横に回答→	満足している	どちらとも言えない	不満である
【企業の文化や企業で重視される価値観に関すること】			
1. 職位間や部門間含め社内の風通しがよく、課題認識含めた情報共有がうまくいっている	○ 1	○ 2	○ 3
2. 多様な価値観を受容する	○ 1	○ 2	○ 3
3. リスクをとり、チャレンジすることが尊重される	○ 1	○ 2	○ 3
4. 企業の目指すことのビジョンや方向性が明確で社員に周知されている	○ 1	○ 2	○ 3
5. 意思決定のスピードが速い	○ 1	○ 2	○ 3
【自身の評価や報酬に関すること】			
6. 個人の業績や貢献が適正に評価される	○ 1	○ 2	○ 3
7. 世間的に見て報酬水準が高い	○ 1	○ 2	○ 3
8. 高いスキルを持っていることが報酬に反映される	○ 1	○ 2	○ 3
【働く環境に関すること】			
9. オフィスの設備や機材が充実している	○ 1	○ 2	○ 3
10. 一緒に仕事をしたいと思う仲間や上司がいる	○ 1	○ 2	○ 3
11. 仕事を楽しんでいる同僚や上司が多い	○ 1	○ 2	○ 3
12. 個人の事情に合わせた柔軟な働き方ができる	○ 1	○ 2	○ 3
【人材開発（スキルアップ、自己の成長等）に関すること】			
13. 成長している企業で将来性がある	○ 1	○ 2	○ 3
14. 業績が安定している	○ 1	○ 2	○ 3
15. 雇用不安がない	○ 1	○ 2	○ 3
【組織の将来性や業績に関すること】			
16. 新しいスキル等を習得することが奨励される	○ 1	○ 2	○ 3
17. 学習を支援する制度やプログラムが充実している	○ 1	○ 2	○ 3
18. さまざまな挑戦の機会があり中長期的な自己の成長が期待できる	○ 1	○ 2	○ 3
【自身が携わる仕事に関すること】			
19. 個人の裁量が大きい	○ 1	○ 2	○ 3
20. 最先端の仕事ができる	○ 1	○ 2	○ 3
21. 自身が携わる仕事を選べるしくみがある	○ 1	○ 2	○ 3

■IPAの公開情報についてお尋ねします。

問A IPAの公開資料を、御社において何らかの形で活用されていますか。[番号を1つ選択]

- 1. 活用している →問Bへ
- 2. 活用していない →問Cへ

問Aで「1. 活用している」を選択した方にお尋ねします。

問B 御社では、IPAの公開資料を具体的にどのように活用していますか。[当てはまるすべてを選択]

- 1. 施策の資料としての活用・利用
- 2. 研究の基礎資料としての活用・利用
- 3. 教材や育成プログラム作成の基礎資料としての活用・利用
- 4. 経営戦略の資料として活用・利用
- 5. 人事・人材育成施策に活用・利用
- 6. 研修・教育関連に活用・利用
- 7. 社内外・組織内向け文書・資料として活用・利用
- 8. その他

問C IPA社会基盤センターなどの書籍は活用されていますか。[当てはまるすべてを選択]

- 1. 「IT人材白書2020」
- 2. 「AI白書2020」
- 3. 「情報セキュリティ白書2020」

■【情報処理技術者試験】の活用（知識・スキルの習得、受験、評価など）についてお尋ねします。

情報処理試験全般：<https://www.jitec.ipa.go.jp/>

ITパスポート試験：<https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/index.html>

情報セキュリティマネジメント試験：<https://www.jitec.ipa.go.jp/sg/>

問D 御社では国家試験「情報処理技術者試験」をどれくらい活用していますか。[番号を1つ選択]

- 1. 十分に活用している
- 2. やや活用している
- 3. 全く活用していない

■インタビュー調査についてお尋ねします。

問E 次年度の調査に向けて、インタビューを予定しています。こちらのインタビュー調査にご協力をいただくことは可能でしょうか。[番号を1つ選択]

- 1. はい 本調査票の最初に記入された「ご回答企業情報」の住所、部署宛にインタビュー調査を依頼する可能性がございます。
- 2. いいえ

～アンケートは以上です。御社のご協力を深く感謝申し上げます。～

アンケートにご協力いただいた方には、本調査結果内容のPDF、またはこれに準ずる資料を提供させていただきます。

ウェブ回答以外は本ファイルを保存した上で、下記①メールアドレスに送信いただくか、
下記②本アンケート調査専用ウェブサイトにごログインの上、ファイルをアップロードしてください。
①メールアドレス：itjinzai@tsr-net.co.jp
②本アンケート調査専用ウェブサイト：<https://www.c-pass.jp/ds2020>